

# 令和6年度各会計予算 に対する各会派等の

# 意見表(要旨)

## 自民党豊島区議団

令和6年度一般会計予算、3特別会計予算、一般会計補正予算第1号に賛成。

6年度予算は、前区長の路線を継承しつつ、子育て施策の充実等、特色を發揮した予算であることを評価。一方で職員採用が増えたことも含めて、予算の膨張傾向が見られたため、事業の見極めの重要性を指摘。款別を見ると、総務費では、総合防災システムの新システムへ移行推進を。区民費では、町会に入りやすく定住につながる取組を。福祉費では、フレイル対策事業による更なる予防と普及啓発を。都市整備費では、副都心線・都電荒川線の新駅整備の実現を。文化商工費では、10月より供用開始の千早フィールドをはじめ区内のスポーツ施設は適時メンテナンスを。子ども家庭費では、児童の見守り強化の検討を。教育費では、地域コミュニティの拠点、防災施設としても学校改築の着実な推進を。3特別会計についてはいずれも少子高齢化の影響から厳しい予算ではあるが、介護報酬単価の改定から、介護サービス事業所への財政支援を要望。

## 公明党

令和6年度一般会計予算、3特別会計予算、一般会計補正予算第1号の可決に賛成。以下、要望の要旨を述べる。

●防災協定の見直しを●救援センター開設訓練の年1回開催を●女性の防災リーダー講座の充実を●「ペット災害時同行避難」の周知とパンフレット作成を●子どものインフルエンザワクチン任意接種補助を●妊婦健診受診票の助産院での利用を●带状疱疹ワクチンの推進を●男性へのHPVワクチン接種周知を●リトルベビーハンドブック、祖父母手帳の作成を●路面下空洞調査の継続を●公園等みどりの協定団体への支援強化を●小中学校移動教室宿泊費補助の拡充と4年生の移動教室再開を●プライバシーに配慮した学校健診を●病児病後児保育の予約・空き情報のWEB化を●私立幼稚園給食費補助の多子計算に係る年齢制限緩和の周知を●子育てひろばと区役所関係部署とのオンライン相談機能の設置を●学校間で差が生じないように活動の推進を●「スポーツ推進条例」の制定と新たな屋内スポーツ施設の整備を

## 立憲・れいわ

令和6年度一般会計予算及び一般会計補正予算、並びに3特別会計予算に賛成。予算審査に当たり、声をあげられない区民の声をひろいあげて、区政につなげるのが私たちの役割という生活の基盤を支える豊島区なのかという視点で実施。

款別に意見を述べる。発災時の安否確認方法の周知徹底を。すべての年齢層の困難な問題を抱える女性への支援計画策定のため、民間の支援団体と連携を。歯周病検診率の受診率の向上を。障害児相談支援事業は障害者のサービス受給、事業者の負担にならずに安定的継続ができるよう支援を。子育てファミリー世帯家賃助成はひとり親世帯への助成として十分ではない。補助の拡充を求める。子どもを養育する男性のアンケート結果を男性育児支援や父子手帳の作成につなげることを。豊島区で起業する中小企業に対するサポートの充実を。中学校の特別支援学級の合宿型合同移動教室の再開を。国保会計は国に負担増、制度の抜本的見直しを強く求めるべき。介護会計は事業所やケアワーク従事者への支援拡充を。

## 都民ファーストの会・国民

令和6年度一般会計予算及び3特別会計予算並びに一般会計補正予算第1号の可決に賛成。誰ひとり取り残さない区政への強い決意が表れた積極的な予算編成であり、情報公開、賢い支出、持続可能性の視点から高く評価できる。

以下、款別に提案及び要望を述べる。外国籍居住者との共生に向けた効果的・積極的な施策を。生成AI活用を含む行政DX化の一層の推進を。様々な悩みを抱える女性のための相談窓口拡充・独自施策実施を。高齢者施策は喫緊の課題であり、多方面からの支援拡充と周知強化を。土日窓口開庁の見直し、来庁不要手続きの拡大に期待。池袋駅東口街区の再開発は、官民一体の推進を。空き家対策は、庁内連携による多様な活用方法の模索を。新たな中小企業支援補助金の内容を高く評価、効果的な実施に期待。スポーツ施設の子ども料金無料化を筆頭にスポーツ施策の充実を。研究開発指定校制度は、過去の成果を活かし、より効果的な制度に。介護保険事業では、真に支援を必要とする人に適切な施策の実施を。

## 日本共産党

24年度一般会計予算に反対する。

第1に物価高騰により大変深刻になってきている区民を直視した予算になっていない。防災対策は避難所の整備、家具転倒防止器具助成等が必要。生活保護基準の引き上げを国に求めるとともに区独自の支援策が必要。公的住宅制度の拡充が必要。補聴器購入の改善、介護事業所におけるPCR検査等支援策が必要。視覚障害のある方への対応を増やすべき。就学援助認定基準の引き上げ、私費負担の軽減、大学等への学費補助を実施すべき。小中学校給食費無償化は区立以外へも実施すべき。中小企業対策が必要。第2に大規模な市街地再開発事業や、イケバスなど、区民不在、不要不急の無駄な事業を進めている。第3に高層新街区になり一部前進はあるが、これまでの変えるべき区政が変わっていない。

## 維新・無所属

令和6年度一般会計予算、一般会計補正予算第1号、3特別会計予算に賛成。

エレベーター内キャビネットの区有・民間施設設置を。ママや若い女性視点の防災対策を。利用者に寄り添う見やすいわかりやすいホームページの検討を。ケアマネージャーや研究機関と連携した災害時要配慮者対策検討を。認知症対策やがん検診の充実、ワクチンに寄り添った路上喫煙・ポイ捨て防止条例の改正、事業者と連携した公衆喫煙所整備を。最新技術を取り入れ安全で心地よい空間の道路整備を。スポーツ関連事業の継続的な実施と東京マラソンEXPOの池袋開催を。学用品無償化の前向きな検討を。外部指導員による部活動や水泳指導では、子どもを守る仕組みづくりを。国民健康保険制度維持のために保険料適正化・納付率向上・予防医療の推進を。引き続き先端技術を活用したDX推進を。

## 無所属元気の会

今年度は、特に女性や子どもに向けた新規・拡充事業も増えた予算となった。共働き子育てしやすい街らしいと区民の方々に実感してもらえるかといった点も踏まえ、各款別審査では次の内容等を提言・要望した。

多文化共生について、大学等卒業後の年代の本区居住理由を分析し、町会・商店街への参加促進を。今年度保険証と一体化するマイナンバーカードの必要性等の周知を。公衆浴場は、中学生に向けおたっしやカードと同様の仕組みを導入し、利用促進を。中小企業に新紙幣対応のための支援・補助を。生成AIについて、国のガイドライン等を踏まえ外部講師制度を利用し積極的な利用を。公衆喫煙所は民間を活用し歳入につながる施策の検討を。シティプロモーションは縦割りにならないよう戦略的発信を。今回編成された予算が、豊島新時代、そして稼げる豊島区に変貌し、住んでよかった、住み続けてよかったと実感してもらえる街を目指せるものと考え、令和6年度一般会計・補正予算、3特別会計予算に賛成する。